

マルチロガーJr & PC1616AT

多連の圧密試験が自動になった！！



- ・多連圧密試験の測定が、HM1616xと変位計、PC1616ATで安価に構成できるようになりました。
- ・ひずみ式変位計使用では、最大8連、デジタル式変位計使用では、最大6連まで使用できます。
- ・両方を組み合わせると、最大14連まで使用できます。
- ・試料セット、新規ボタン後は、載荷及び終了ボタンを押すだけで、開始ブザーに合わせて荷重を載せます。
- ・パソコンのハングアップ、停電、誤操作等でも、再起動で継続して試験が行われます。
- ・d-√t曲線、沈下量、経過時間、荷重値、段階数が示されます。
- ・載荷途中及び全段階が終了時に、HMD圧密解析ソフトでシート出力等が出来ます。

HM1616T (歪み入力8) ; HM1616TDx (歪み入力8+デジタル入力6) ;

低価格構成: HM1616T+計測ソフト+ センサー+解析ソフト

高精度構成: HM1616TDM+計測ソフト+ センサー+解析ソフト

ご注意: 本書に記載された内容は、製品改善のために予告なしに変更することがあります。

お問い合わせ

データロガー/アンプ/センサー/ソフト/計測システム/試験機/他

HMD

株式会社 濱田電機

DK0KPC1616AT圧密

TEL (042) 473-4041

FAX (042) 472-0089

Home Page <http://www.hmd-dk.jp>

営業所/〒203-0013 東京都東久留米市新川町2-4-5 メモリーマンション1F

圧密試験機に変位計を取り付けます



ひずみ式、
デジタル式
センサーを接続

HM1616Sx



パソコン

ロガーの表示

時刻
変位

04/12 12:59:59
CH1 0.012 mm

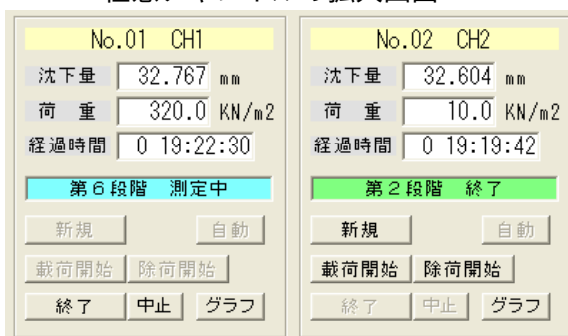
<圧密試験の操作手順>

1. 新規の場合は、試料がセットされた圧密容器に変位計を取り付け、パソコン画面で新規ボタンを押します。
2. 载荷ボタンを押します。ブザーに合わせて、荷重を載せます。
3. 同様に次のチャンネルを行います。
4. 次の段階に移る場合は、終了ボタンを押します。
5. 载荷の場合は、2項から繰り返しします。
除荷を行う場合は、除荷ボタンを押します。ブザーに合わせて、除荷します。
6. 最大20段階まで、载荷及び除荷を繰り返す事が出来ます。
7. 全段階が終了した試料のファイルをHMD圧密解析ソフトに読み込んでシート出力します。

メニュー画面



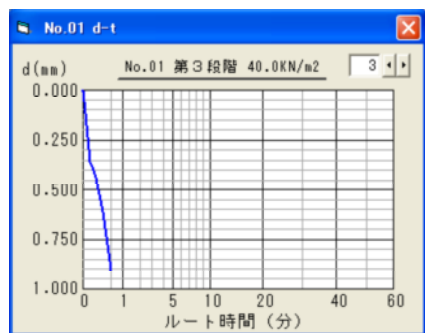
任意チャンネルの拡大画面



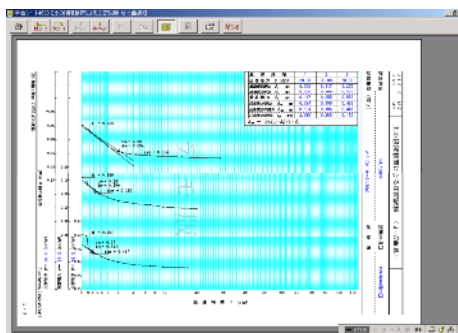
全チャンネルの状態が
解ります
各チャンネル独立して
試験ができます。



任意チャンネル d-√t 曲線画面

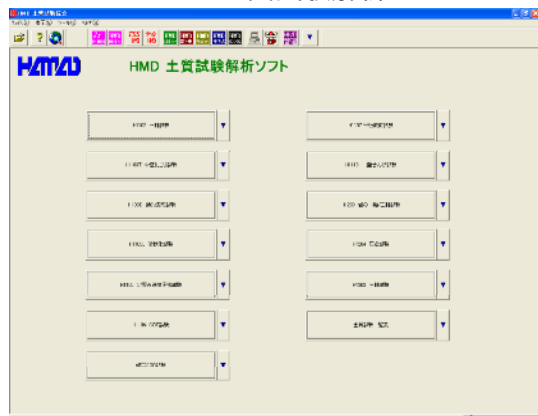


d-√t 曲線

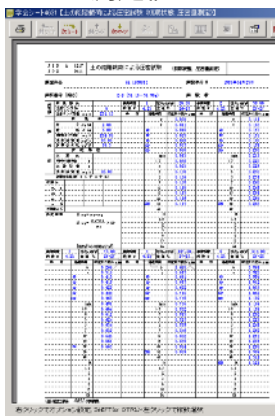


測定データから
左/下図の様に解析結果が
得られます
その他にも多くの
修正、入力、出力
画面等があります

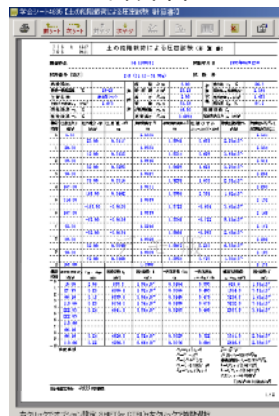
HMD土質試験解析ソフト



測定値



計算書



e-log P 曲線

